

総務常任委員会 管内視察報告書

日時 6月3日(水) 10時00分
場所 市内

1. 飛騨市美術館の収蔵品状況について<教育委員会事務局所管>

飛騨市の収蔵品の管理環境を直接知ることができた。温度・湿度・空調管理状況がよくわかった。飛騨センターに関しては関係団体や組織から要望書等が出されていることも知ったが、後に飛騨市としては満杯に近くなるが飛騨市美術館と山樵館に分散収蔵できることになった。

委員会としては、市の方針は確認できたので今後の県のあり方を注視したい。



2. 特定空家状況について<建築管財部・宮川振興事務所所管>

特定空家に認定されているそれぞれの物件でいろいろな事情があり、担当職員も解消に励んでいるが、進捗するにはなかなか時間が要する感が否めない。しかし、早急に対応をしなければならぬ物件もあり行政代執行でもしてもらいたいものもあった。

委員会としては、経過を注視し見守る方向である。



▲特定空家（神岡町船津）現場にて



▲特定空家（神岡町伏方）現場にて



▲特定空家（宮川町種蔵）現場にて

3. 火災跡地状況について〈建築管財部・宮川振興事務所所管〉

道路に面しているため、景観がよくないので早めに所有者と話を進めてもらいたい。
委員会としては、今後の動向を注視したい。



4. 板倉の宿 種蔵の再オープンの状況について〈宮川振興事務所所管〉

視察時はボイラーの修繕や、利用客を迎え入れるにあたり、まだ準備段階であった。若い方がメインで担当されることで、期待を大きく抱いた。精励して種蔵の良さを発信してもらいたい。

委員会としては、今後の動向を注視したい。



▲板倉の宿 種蔵にて